

施設カルテ

施設番号 1022 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	笹岡 市営住宅		
所在地(住所)	東区瀬戸町笹岡1267-001-00		
所管局区室課	都市整備局住宅課		
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅
財産中分類	公共用財産	地区	瀬戸
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅
中学校区	瀬戸中学校	小学校区	江西小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし
管理運営	指定管理	延床面積	180.80 m ²
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	354.00 m ²



施設概要	市営住宅:住宅
------	---------

設置目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
------	--

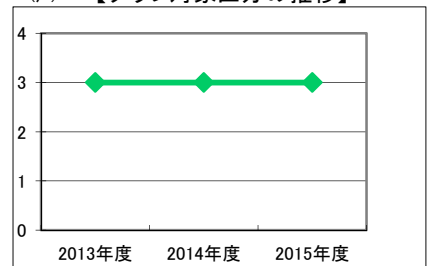
設置根拠	公営住宅法、岡山市営住宅条例
------	----------------

用途地域	指定なし	法定容積率	100 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1棟	駐車台数	0台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	階段	—	地震・危険度	—
	通信設備	×	昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	駐車場	×	土砂災害計画区域等	土砂災害危険箇所
	代替電源設備	×	開設年月日	1974/04/01	供用廃止日	—
		環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×		
			屋上緑化・壁面緑化	×		
			設備(電気)	×		
		設備(雨水・中水)	×			
		その他省エネ	×			
		分煙対策	指定なし			
		アスベストの使用	無			

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	4	4	4	
入居戸数	戸	3	3	3	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 入居戸数(戸)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 1022 施設名 笹岡 市営住宅

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		28	0	268	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	-	
	光熱水費	電気	0	0	-
		ガス	0	0	-
		水道	0	0	-
	修繕費	28	-	220	
外	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	48		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

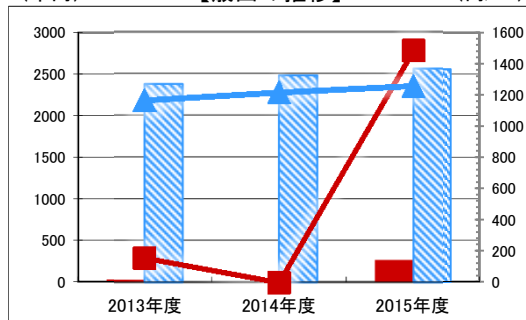
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		265	251	272
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	265	251	272
外	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

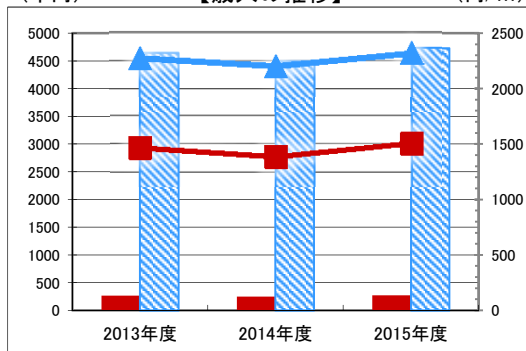
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	28 第108位	157	第111位
2014年度	0 -	0	-
2015年度	268 第77位	1,483	第11位

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

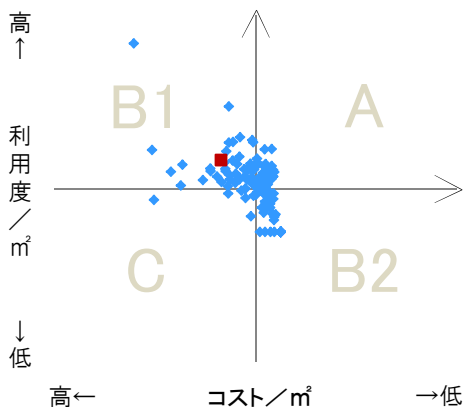
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 1023 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	瀬戸市営住宅			
所在地(住所)	東区瀬戸町下0404-000-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	瀬戸	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	瀬戸中学校	小学校区	江西小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	1,639.90 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	1,993.00 m ²	

施設概要
市営住宅:住宅、物置、自転車置き場

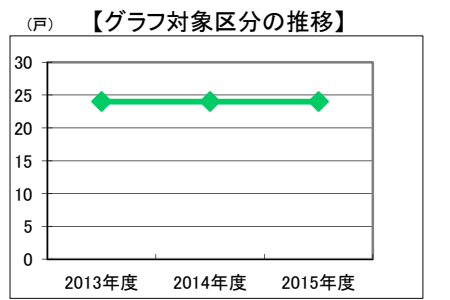
設置目的
健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠
公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	第一種低層住居専用地域	法定容積率	100 %	法定建蔽率	50 %			
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	7棟	駐車台数	24台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	ハリアーフリー化	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満		
	災害用備蓄の有無	×			自然エネルギー・太陽光	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×			屋上緑化・壁面緑化	×	地震・危険度	—
	通信設備	×			設備(電気)	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×			設備(雨水・中水)	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×			その他省エネ	×	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	代替電源設備	×			分煙対策	指定なし	開設年月日	1980/04/01
					アスベストの使用	無	供用廃止日	—
					出入口	×		
					廊下等	×		
		階段	×					
		昇降機	×					
		便所	×					
		駐車場	×					

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	24	24	24	
入居戸数	戸	24	24	24	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 入居戸数(戸)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 1023 施設名 瀬戸市営住宅

財務情報

●歳出

区分		(千円)			
区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		823	583	496	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	44	37	36
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	778	546	173	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	287	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

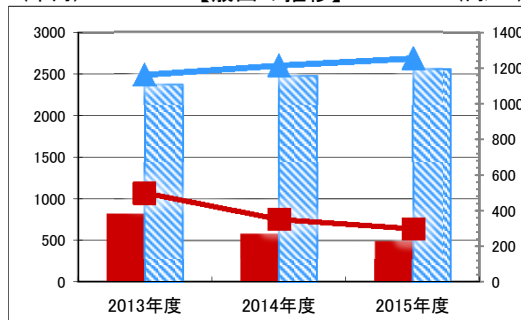
●歳入

区分		(千円)		
区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		4,678	4,709	5,051
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	418
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

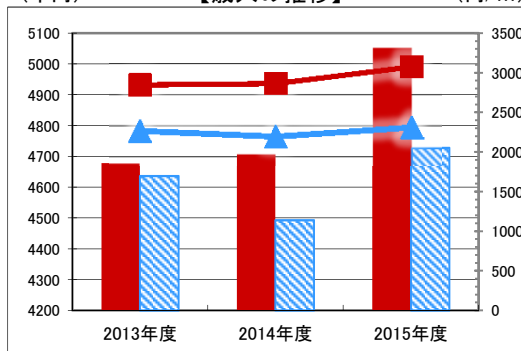
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	823 第49位	502	第66位
2014年度	583 第55位	356	第79位
2015年度	496 第61位	302	第98位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

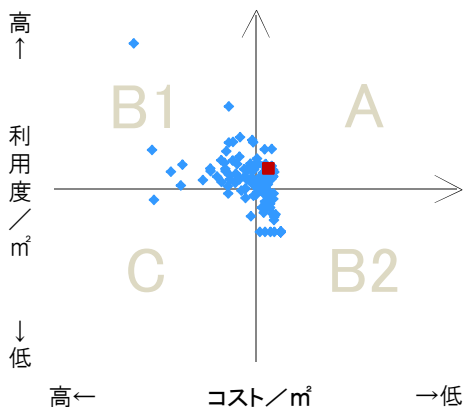
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 968 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	山田南 市営住宅			
所在地(住所)	東区久保0295-001-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	西大寺中学校	小学校区	雄神小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	135.58 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	966.70 m ²	

施設概要 市営住宅:住宅、物置

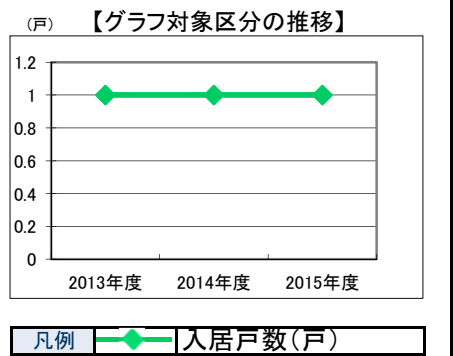
設置目的 健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠 公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	8 棟	駐車台数	0 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	階段	—	地震・危険度	建物全壊率が5~7%の地域
	通信設備	×	昇降機	—	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	分煙対策	指定なし	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1963/04/01
					供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	3	3	3	
入居戸数	戸	1	1	1	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 968 施設名 山田南 市営住宅

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	428	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	-	
	光熱水費	電気	0	0	-
		ガス	0	0	-
	水道	0	0	-	
修繕費	0	-	392		
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	36	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

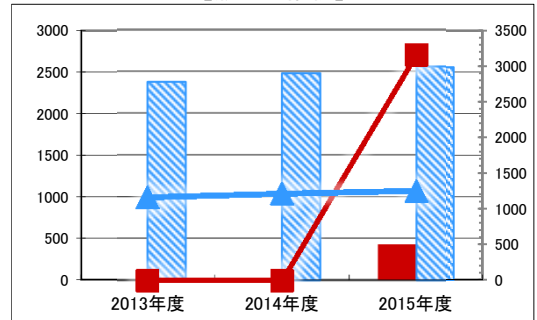
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		35	28	38
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	35	28	38
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

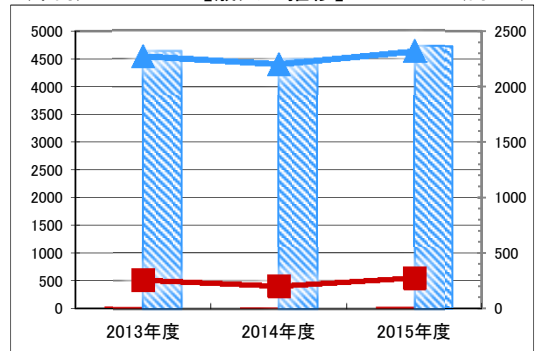
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	428	3,156	第66位 第3位

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

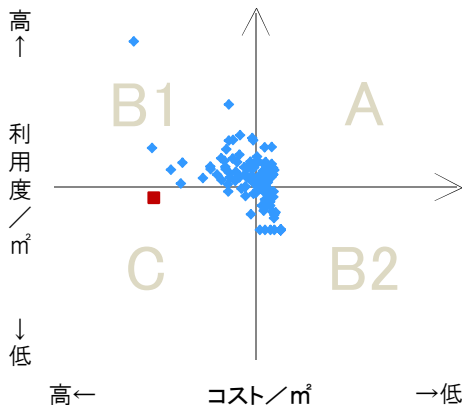
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い


凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 969 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	久保A 市営住宅			
所在地(住所)	東区久保0689-001-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	西大寺中学校	小学校区	雄神小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	745.96 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	1,196.00 m ²	

施設概要
市営住宅:住宅、物置、自転車置き場、機械室

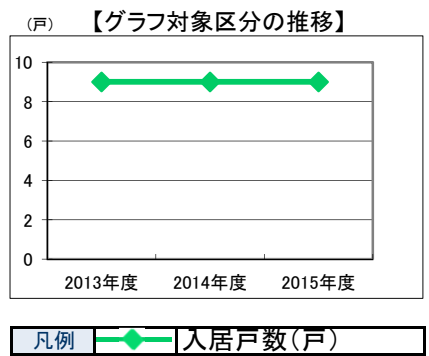
設置目的
健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠
公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	7 棟	駐車台数	0 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	階段	×	地震・危険度	—
	通信設備	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	開設年月日	1964/04/01	供用廃止日	—
		環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×		
			屋上緑化・壁面緑化	×		
			設備(電気)	×		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	9	9	9	
入居戸数	戸	9	9	9	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 969 施設名 久保A 市営住宅

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		1,574	1,529	627	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	68	69	68
		ガス	0	0	0
	水道	9	9	9	
修繕費	1,497	1,451	442		
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	108	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

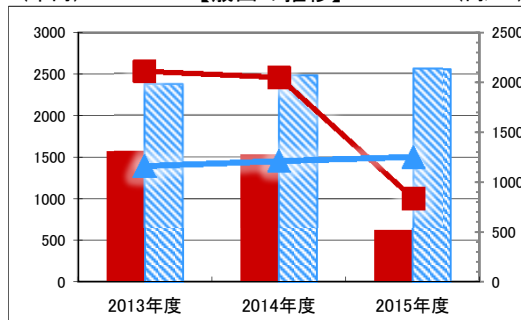
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		1,581	1,389	1,564
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	1,581	1,389	1,564	
外 訳	直営 使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

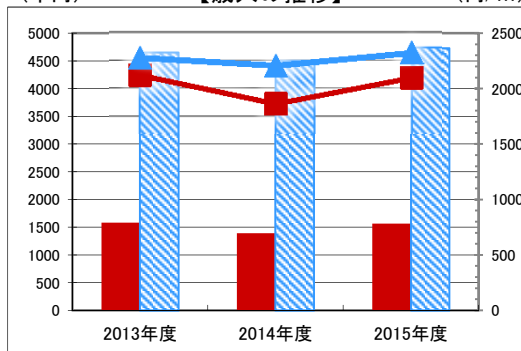
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	1,574 第33位	2,110 第9位	
2014年度	1,529 第38位	2,049 第14位	
2015年度	627 第52位	840 第39位	

【歳出の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】 (千円) (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

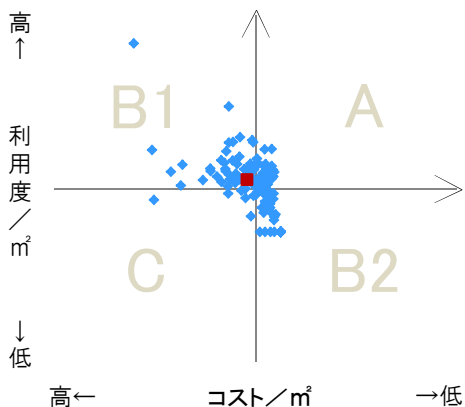
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い


凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 970 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/15

施設基本情報

施設名	山田B 市営住宅			
所在地(住所)	東区富崎0700-002-00			
所管局区室課	都市整備局住宅課			
FM大分類	市営住宅	FM中分類	市営住宅	
財産中分類	公共用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)	
財産小分類	住宅	財産細分類	市営住宅	
中学校区	西大寺中学校	小学校区	雄神小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	指定なし	
管理運営	指定管理	延床面積	1,321.81 m ²	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	8,477.86 m ²	

施設概要
市営住宅:住宅、物置、自転車置き場、機械室

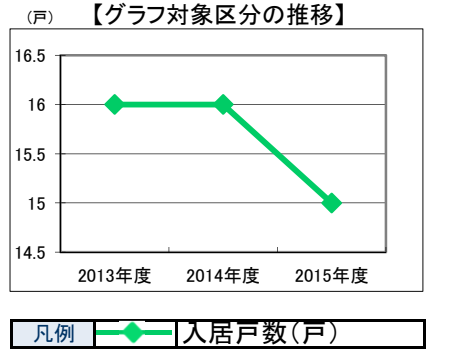
設置目的
健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

設置根拠
公営住宅法、岡山市営住宅条例

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	7 棟	駐車台数	0 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	階段	×	地震・危険度	—
	通信設備	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	駐車場	×	土砂災害計画区域等	警戒区域(急傾斜)
	代替電源設備	×	開設年月日	1988/04/01	供用廃止日	—
		環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×		
			屋上緑化・壁面緑化	×		
			設備(電気)	×		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸	16	16	16	
入居戸数	戸	16	16	15	★
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号 970 施設名 山田B 市営住宅

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		873	2,071	790	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	258	221	215
		ガス	0	0	0
	水道	9	9	9	
修繕費	606	1,840	376		
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	191	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	0.19	0.19	0.19
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

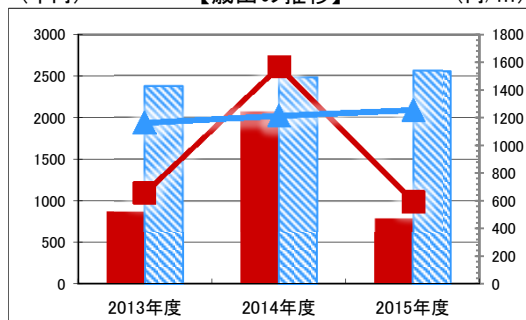
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		2,947	2,888	3,330
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	2,947	2,888	3,330
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

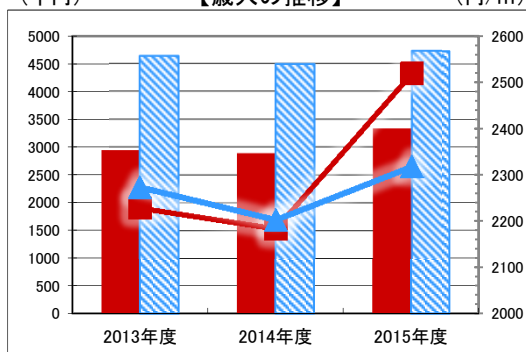
施設分類	市営住宅	総施設数	150
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	873 第47位	660	第53位
2014年度	2,071 第29位	1,567	第21位
2015年度	790 第44位	598	第62位

【歳出の推移】



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

【歳入の推移】



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

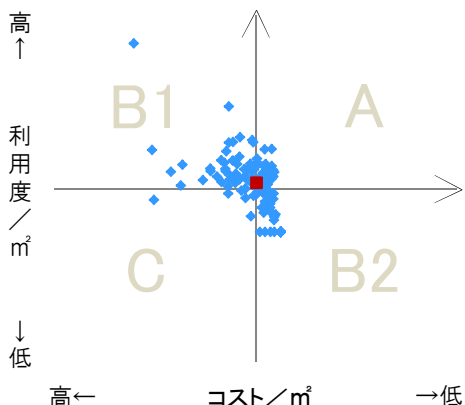
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

